

北海道ふるさと会連合会会報



2010年

No.28

発行者 北海道ふるさと会連合会
編集広報部会
発行日 平成20年12月1日

事務局 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17(北海道東京事務所) TEL・FAX 03-3592-0122



積丹半島 (しゃこたんはんとう)

北海道西部、日本海に突き出すように伸びるのが積丹半島です。積丹はアイヌ語の地名では「シャク・コタン」に漢字を充てたもので、「シャク」は夏、「コタン」は村を意味し、半島特有の気候厳しいこの地が1年でひときわ輝く「夏の村」を表しています。

その半島の最先端に位置するのが神威岬(カムイ岬)、更にその沖合いに鎮座するのが神威岩です。

カムイもアイヌ語の「神」を表し、シャコタンブルーと形容される紺碧の海と断崖絶壁のコントラストが生み出す、その神々しい姿からアイヌの人々も特別な場所として崇め、神話にも登場させます。かつては日本海の難所のひとつで、安政3年までは舟に女性を乗せて沖合を航行すると海が荒れるといわれ、「女人禁制の地」となっていた史実があります。

しかし、それも昔の話、岬先端まで整備された自然歩道で自然と対話し、途中、女人禁制の門で歴史を感じながら、神威岩に伝わる義経伝説に浪漫を馳せる絶景があります。